

平成29年度第4回学長選考会議議事要旨

日 時 平成29年9月20日（水） 9時52分開会
11時26分閉会

場 所 札幌駅前サテライト（教室2）

出席者 松岡（議長）、今井、柿沼、蔵本、高橋、立川
横山、海老名、玉井、後藤、佐藤、羽賀、高久、大津、阿部

欠席者 小野寺

（議 事）

1 前回（第3回）の議事要旨等について

総務課長から、資料1に基づき、前回会議の議事要旨が読み上げられ、了承した。

併せて、面談に関わる資料の取扱いについて、審議が行われ、「議事の内容の公開について」（平成26年度第4回学長選考会議決定）及び「国立大学法人北海道教育大学長の業績評価に関する要項」（以下、「要項」という。）第3条（1）等に基づき、非公開とすることとした。

2 評価書について

資料2に基づき、委員から修正意見が出された。

出された意見に基づき、事務局で評価書を修正・配付の上、内容を確認し、評価書を決定した。

3 評価結果の通知及び公表について

議長及び総務課長から、資料3に基づき説明があり、要項第5条により、本日、議長から学長に評価書を手交するとともに、本学ホームページ上において公表することとした。

以 上

平成29年度 第4回学長選考会議開催要項

○日 時 平成29年9月20日（水） 10時00分～12時00分

○場 所 札幌駅前サテライト教室2

○議 題

学長の業績評価について

○配付資料

資料1 平成29年度第3回学長選考会議議事要旨（案）

資料2 評価書

資料3 学長の業績評価結果の学長への通知及び公表

平成29年度第3回学長選考会議議事要旨（案）

日 時 平成29年8月23日（水） 9時55分開会
11時50分閉会

場 所 札幌駅前サテライト（教室2、教室3）

出席者 松岡（議長）、今井、柿沼、蔵本、高橋、立川
横山、海老名、玉井、後藤、佐藤、羽賀、高久、大津、阿部

欠席者 小野寺

議事に先立ち、資料1に基づき、平成29年7月27日付け、経営協議会委員（学長選考会議規則第2条1項2号）の変更について、報告があった。

（議 事）

- 1 これまでの会議の確認について
議長及び総務課長から、第1回学長選考会議議事要旨、学長の業績評価に係る面談実施要領、国立大学法人北海道教育大学長の業績評価に関する要項について説明があり、確認・了承された。
- 2 学長面談について
学長の業績評価に係る面談実施要領（資料2）に基づき、学長面談を実施した。
- 3 評価書について
議長から、資料4に基づき説明があり、本日の学長面談の内容を踏まえ、各委員において記載内容を修正の上、事務局へ提出することとした。
- 4 次回会議の日程について
次回（第4回）の会議を9月20日（水）10時から札幌駅前サテライトで開催することとした。

以 上

別記様式（第3条関係）

国立大学法人北海道教育大学 学長業績評価 評価書

学 長 選 考 会 議

1 評価

教育、研究、社会貢献、グローバル化、大学運営の各分野において、一部課題はあるものの、各分野及び全体において、概ね順調に業務を遂行してきていると評価する。

2 各委員からの主な意見等

(1) 教育

- 高い使命感及び実践的指導力を有する教員の養成に資するため、アクティブ・ラーニング型の授業科目「学校臨床研究」や「教育実習前C B T」の試行等による積極的なカリキュラム改革を実施している。
- 学部1年から4年までのキャリア形成のプロセスを可視化した「北海道教育大学キャリアガイド」の作成や、授業料免除選考基準を改正し免除特例の緩和を図るなど、学生の修学支援に鋭意取り組んでいる。
- 学生の自主的・能動的な学びを支援するため、ラーニングコモンズを附属図書館旭川館及び釧路館に導入するなど、修学環境の改善に取り組んでいる。
- 「教員養成改革推進外部委員会」「学生の意見を取り入れた授業・教育課程評価委員会」を設置し、ステークホルダーの声を取り入れたカリキュラム改革に取り組んでいる。
- 教員就職率75%を達成するためには、これまでの施策に加え、目標達成に向けて新たな具体策を検討、実施するなど、更なる努力が必要である。
- 教職に対する志望意欲の十分な確認及び「学びの3要素」の多面的・総合的な評価を行うため、教員養成特別入試（仮称）の導入を検討するなど、入試改革に取り組んでいる。入試改革については、18歳人口の減少や大学進学率50%超えの社会において、一定の学力を備え、本学の使命に関心を持った学生を確保するための方策に期待したい。
- 大学院教育学研究科修士課程の定員を充足するため、教育委員会などステークホルダーの声を取り入れ、入学試験、教育課程、キャリア形成を総合的

に整備すべきである。

(2) 研究

- 教育学部全体として、へき地・小規模校教育、特別支援教育、食育、理数科教育など、学校教育に密着した研究を重点的に進めている。
- 新学科における研究成果を活かした地域貢献人材養成プロジェクトや、芸術・スポーツ文化の特色を活かした地域活性化の取組等、研究の成果を地域の活性化及び振興に活かしている。
- 平成28年度は、学長戦略費による14研究プロジェクトのうち9プロジェクトにおいて、学会等の開催やテキストの発行等により研究成果を公表している。また、2つのプロジェクトにおいては外部資金を獲得するなど、今後の研究プロジェクトの発展が期待できる。
- 文部科学省の国立大学改革強化推進事業により、本学(H)・愛知教育大学(A)・東京学芸大学(T)・大阪教育大学(O)が連携する研究プロジェクトを進め、研究拠点の形成やプロジェクトを通じた研究活動の推進が図られている。
- 厳しい財政状況の中、外部資金の獲得や、学長裁量経費による研究の重点化を図るなど、社会のニーズに対応した研究を推進するために、引き続き、工夫・改善を図るべきである。

(3) 社会貢献

- 北海道教育委員会や札幌市教育委員会との連携を図り、学生ボランティア派遣事業等の各種事業を鋭意進めており、北海道の実態を踏まえた効果的な社会貢献を進めている。
- 北海道立教育研究所と連携を図り、「へき地・小規模校教育」に取り組んでいる。また、へき地校体験実習の成果と課題を発表し、学校教育の今後の在り方を協議する「へき地・小規模校フォーラム」を毎年開催するなど、地域の課題に対応した取組を実施している。
- 国際地域学科において、新日本スーパーマーケット協会、北洋銀行と連携した寄付特別講座の開催や、芸術・スポーツ文化学科における「北海道教育大学ミュージックキャラバンプロジェクト」の実施など、学科の特色を活かした地域貢献を実施している。
- 新たに江差町並びに知内町と相互協力協定を締結し、国際地域学科(函館校)の持つ教育資源を活かし、教育、文化、学術及び地域振興に貢献してい

る。

- 今後、各キャンパスの特色を活かした取組を更に発展させていくことを通して、北海道の教育、文化、学術及びスポーツ等に貢献する事業等を実施すべきである。
- 北海道の教育課題である「子どもの学力・体力」の課題に、大学全体としてどのように関わっていくのかについて、より具体的な対応が必要である。

(4) グローバル化

- グローバル化に対応できる教員を養成するため、「グローバル教員養成プロジェクト」を実施し、学生の英語力の向上を図るとともに、海外の大学と連携し、留学生の派遣・受入の拡大を図っている。
- 「グローバル教員養成プロジェクト」の円滑な実施や学生の英語能力向上のために、必要な施策を検討、実施するなど、更なる努力が必要である。
- グローバル化に向けた教職員の資質能力の向上を図るため、大学教員対象の海外研修制度の実施や、事務職員の海外語学研修の派遣等を実施している。
- 留学生の派遣及び受け入れの拡大のため、海外2大学の協力を得て、学生派遣短期研修プログラム1件、留学生受入プログラム1件を開設しており、また、JICEなどが実施する海外派遣プロジェクトに採択されるなど、大学のグローバル化に向けた取組を推進している。

(5) 大学運営

- 財務状況、運営状況等、法令等に従い業務が概ね適正に実施されており、中期目標達成に向けて、効果的かつ効率的に業務が進められている。
- 高度専門的な業務を担う常勤職員として、学内弁護士（リーガルアドバイザー）を採用するなど、運営組織の充実を図っている。
- 学長自らが、講演会・説明会等の機会にキャンパスに赴き、当該キャンパスの教職員との交流を図り、現状を確認するなど、キャンパスとの関係を重要視した運営を行っている。
- 附属学校の機能を活かし、幼小接続や子育て推進のニーズに応えるため、教員養成課程の学生・地域人材等を活用した預かり保育の実施や、教育委員会との連携により、北海道の子どもの学力向上を目指す「授業実践交流事業」の実施などの取組を実施している。

- 「北海道教育大学キャンパスマスタープラン」に基づき、計画的に施設設備整備を実施している。

- 今後、より一層の社会的なニーズに応じていくためには、学長のリーダーシップによる先進的な取組と、それを支える柔軟で機動的な組織体制が必要である。現行の組織の枠組みを超えた横断的な視野による企画立案機能を有した組織を設けるなど、組織体制の見直しと整備が必要である。

学長の業績評価結果の学長への通知及び公表（全学ホームページ）

1 学長への評価結果の通知【項第5条】

第4回学長選考会議（9月20日開催）において、評価を確定したのち、評価書（別記様式（第3条関係））を学長に手交する。

2 公表（全学ホームページ）【要項第5条】

学長に評価書を手交した後、評価書を全学ホームページに掲載する。
全学ホームページの掲載箇所等は、次のとおり。

The screenshot shows the 'University Introduction' page of the University of Hokkaido. The navigation menu includes '大学紹介', '学部・大学院', '入試情報', '特色ある取り組み', and '学生生活・就職'. The main content area is titled '大学紹介' and contains a grid of links. The link '会議開催状況' (Meeting Status) is highlighted with a red box.

<ul style="list-style-type: none"> ▶ 学長からのメッセージ ▶ 北海道教育大学憲章 ▶ 役員等の紹介 ▶ シンボルマークについて ▶ 附属学校 ▶ 組織図 ▶ 中期目標・中期計画・年度計画 ▶ 科学研究費補助金 ▶ 節減への取り組みについて ▶ 災害に関する情報 ▶ 人権侵害（ハラスメント）への対策 ▶ 倫理保持のためのガイドライン、利害関係者との間における行為Q&A ▶ 地球温暖化対策に関する実施計画について ▶ 入学定員・学生数 ▶ 土地・建物・建物配置図 ▶ 報謝集 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 学長対話 ▶ 歴代学長・沿革 ▶ 北海道教育大学がめざすもの ▶ 北海道教育大学教員紹介（研究者組織） ▶ 事務局及び各校等所在地 ▶ 職員数 ▶ 予算の構成 ▶ 施設利用案内 ▶ キャンパスマスタープラン ▶ 危機管理基本方針・ガイドライン・個別マニュアル作成要領 ▶ 公益通報窓口 ▶ 電話番号一覧・お問い合わせ ▶ 刊行物・広報誌 ▶ 北海道教育大学の評価 ▶ 会議開催状況
--	---





大学紹介

現在位置 [トップページ](#) > [大学紹介](#) > [会議開催状況](#)

会議開催状況

役員会等議事要旨

- [役員会](#)
- [学長選考会議](#)
- [経営協議会](#)
- [教育研究評議会](#)

教授会等議事要旨

[学部教授会](#)

[研究科教授会](#)

大学紹介

- ▶ [学長からのメッセージ](#)
- ▶ [学長対談](#)
- ▶ [北海道教育大学憲章](#)
- ▶ [歴代学長・沿革](#)
- ▶ [役員等の紹介](#)
- ▶ [北海道教育大学がめざすもの](#)
- ▶ [シンボルマークについて](#)
- ▶ [北海道教育大学教員紹介\(研究者総覧\)](#)
- ▶ [附属学校](#)
- ▶ [事務局及び各校等所在地](#)
- ▶ [組織図](#)
- ▶ [職員数](#)
- ▶ [中期目標・中期計画・年度計画](#)
- ▶ [予算の構成](#)
- ▶ [科学研究費補助金](#)



▶ [入学希望の方](#) | ▶ [在学生の方](#) | ▶ [卒業生の方](#) | ▶ [一般・地域の方](#) | ▶ [教育関係者・企業の方](#)



大学紹介

現在位置 [トップページ](#) > [大学紹介](#) > [会議開催状況](#) > [学長選考会議](#)

学長選考会議

- [平成29年度 第1回\(6月21日\)](#)
- [【平成27年度開催】](#)
- [【平成26年度開催】](#)
- [【平成25年度以前開催】](#)

学長の業績評価

会議開催状況

- ▶ [役員会](#)
- ▶ [学長選考会議](#)
- ▶ [経営協議会](#)
- ▶ [教育研究評議会](#)
- ▶ [学部教授会](#)
- ▶ [研究科教授会](#)

[キャンパスマップ](#)





学長の業績評価

評価結果

国立大学法人北海道教育大学 学長業績評価 評価書 (KB)

参考

国立大学法人北海道教育大学長の業績評価に関する要項 (KB)